

株式会社姫路シティFM21

第97回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 令和3年7月17日（土曜日）午後1時30分～午後2時30分

2. 開催場所 イーグレひめじ4階 セミナー室C

3. 出席状況

1) 委員総数 6名

2) 出席委員数 3名

3) 出席委員の氏名（敬称略、順不同）

大谷 昭仁 岩田 稔恵 衣笠 愛之

4) 欠席委員の氏名（敬称略、順不同）

大野 幸一 岸田 直美 松本 智

5) 会社側出席者名

鯉塚 晃好（代表取締役社長・放送局長）

野勢 哲志（常務取締役）

小幡 博（営業企画課 部長）

4. 議題

1) 事務局説明

・代表取締役社長 挨拶

・審議会会長 挨拶

2) 資料説明

① 4月から7月までの事業報告

② (株)姫路シティ FM21 役員 新任 退任の報告

3) 視聴

・開局20周年記念「姫路あれこれ時報」

・令和3年7月7日～8日に実施した防災放送

4) 意見交換

(視聴番組について)

・姫路あれこれ時報

委員 数人でアナウンスしている所は声がずれているので聞き取りにくい。

事務局 キャリアのあるディレクターによる編集で失敗作ではありません。リスナーの気を引くために演出的、意図的にわざと声をずらしています。凝りすぎて年配者の方には聞き取りにくかったのが申し訳ないです。

委員 姫路市の名所を端的に紹介しているのは素晴らしい。

・7月7日～8日の防災放送

事務局 通常夜間は電話割込みをするのですが洪水の災害が出るかもしれないので社員が交代で早朝まで放送。これまでなら警報文を読んで事前に収録している啓発放送を流すのですが、この度は深夜の時間帯に防災士の資格を保持している2名のパーソナリティで警報、交通情報をリアルタイムで放送しました。

委員 FM ゲンキは開局して 20 周年ですが 20 年でラジオを取り巻く環境はどう変わりましたか。

事務局 放送機器がデジタル化しました。圏域局が AM 放送だけだったのが FM で補完をしたりしています。大きく変わったのがインターネットラジオです。当初はラジオでしか聴けなかったのがスマホやパソコンがあれば全国のラジオを聴けるようになりました。リスナーにとってチャンネル数も増え、どの局でも聴けるので便利になりました。

ラジオを持っている人が少なくなりました。若い世代に聞くと家にラジオが無いと回答しています。しかし、行政の方は災害時の時にはラジオがないと困ると話されています。

ラジオの強みは災害時に活躍することです。

委員 スマホからの投稿は多いですか。

事務局 昔ならハガキ・FAX でしたが今はスマホ等のネットからが多いです。

FM ゲンキではツイッターとも連動しています。

委員 家の中では聴こえないがカーラジオは良く聴こえる。

事務局 出力数を上げてクリアな放送が出来るようになればいいと思います。総務省に働きかけをしたいと思っています。

委員 中継局を作るのは難しいのか。

事務局 コミュニティ放送局では難しい。行政に頼るしかない。

この春からは防災行政無線が運用開始されました。

委員 この 7 日、8 日の警報時に防災行政無線のチャイム音が鳴ったが雨音が凄すぎて、放送内容を聴き取るために窓を開けている間に放送が

終了してしまいました。

事務局 今年度の運用をみて改善されると思います。

委員 仁寿山にある送信所について伺いたい。

事務局 2人が入室できるほどの大きさに放送機器が置いているほか、発電機も併設しています。異常があればFM ゲンキの会社内で遠隔感知出来ます。

委員 管理は業者に任せているのですか。

事務局 開局当初からお世話になっている業者に委託しています。

月に一度は社員が点検しています。

局から放送が出来なくなった場合は送信所から送信可能です。

午後2時30分、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 令和3年7月20日

公表内容 審議の概要

公表方法 事務所据え置き、ホームページ (<https://fmgenki.jp>)

以上